

計画事業番号	00302	事務事業名	地域に根差した特色ある学校教育推進事業	担当部署	教育部学校教育課	電話	内線4822
--------	-------	-------	---------------------	------	----------	----	--------

## 【基本情報】

事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		根拠法令等				
事務事業開始年度	平成23年度		個別計画等	北広島市教育基本計画 2011-2020			
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

## 【事業概要】

1 総合計画体系	(第 2 章) 人と文化を育むまち	
	(第 1 節) 「生きる力」を育む学校教育の推進	
	(施策 2 ) 豊かな心を育む教育の充実	
2 対象	市立小中学校の教員及び児童生徒	
3 目的と内容	市の学校教育が目指す「心豊かに大志をいだきたくましく生きる」子どもの育成を実現するため、市の学校教育の根幹である学校教育推進方針を策定し、学校教育推進方針を実現する具体的な手立てである、既存の「心の教育推進事業」「郷土資料教材化事業」と新しく「キャリア教育の推進」をひとつの事業として取り組み、義務教育9年間を修了するにふさわしい子ども達の「学力」「主体的な学びの意欲」「社会性」を育む。	
4 実施内容(手段)	28年度まで	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会科副読本編集委員会・福祉読本編集委員会・学校教育推進方針編集委員会の開催</li> <li>・学校教育推進方針の印刷</li> <li>・きたひろ夢ノートの印刷</li> </ul>
	29年度	<p>昨年と同様であるが、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会科副読本編集委員会・福祉読本編集委員会・学校教育推進方針編集委員会の開催</li> <li>・学校教育推進方針の印刷</li> <li>・きたひろ夢ノートの印刷</li> </ul>

## 【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
福祉読本編集委員会の開催小・中各3回	福祉読本編集委員会の開催小・中各3回	福祉読本編集委員会の開催小・中各3回	福祉読本編集委員会の開催小・中各3回	福祉読本編集委員会の開催小・中各3回	福祉読本編集委員会の開催小・中各3回	福祉読本編集委員会の開催小・中各3回	福祉読本編集委員会の開催小・中各3回
社会科副読本編集委員会の開催 小3回	社会科副読本編集委員会の開催 小3回	社会科副読本編集委員会の開催 小3回	社会科副読本編集委員会の開催 小3回	社会科副読本編集委員会の開催 小3回	社会科副読本編集委員会の開催 小3回	社会科副読本編集委員会の開催 小9回	社会科副読本編集委員会の開催 2回
学校教育推進方針編集委員会の開催 2回	学校教育推進方針編集委員会の開催 2回	学校教育推進方針編集委員会の開催 2回	学校教育推進方針編集委員会の開催 2回	学校教育推進方針編集委員会の開催 2回	学校教育推進方針編集委員会の開催 2回	学校教育推進方針編集委員会の開催 2回	学校教育推進方針編集委員会の開催 2回
学校教育推進方針の印刷	学校教育推進方針の印刷	学校教育推進方針の印刷	学校教育推進方針の印刷	学校教育推進方針の印刷	学校教育推進方針の印刷	学校教育推進方針の印刷	学校教育推進方針の印刷
きたひろ夢ノートの印刷	きたひろ夢ノートの印刷	きたひろ夢ノートの印刷	きたひろ夢ノートの印刷	きたひろ夢ノートの印刷	きたひろ夢ノートの印刷	きたひろ夢ノートの印刷	きたひろ夢ノートの印刷

## 【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性		評価区分
前年度2次評価	現状継続	現状継続とする。		
1次評価	現状継続	学校教育の推進方針の周知、社会科副読本による地域に密着した教育、夢ノートによるキャリア教育の推進を行うために必要である 福祉読本については、道徳の教科化の実施時に編集の必要性を検討する。		
2次評価	現状継続	現状継続とする。		

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			25		382		403		2,992	
事業額	直接事業費	国支出金	0		0		0		0	
		道支出金	0		0		0		0	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	0		0		0		0	
		一般財源	25		382		403		2,992	
	① 合計	25		382		403		2,992		
人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
	④ =②×③	840	0	840	0	840	0	840	0	
総事業費①+④			865		1,222		1,243		3,832	

【評価指標】

指標名		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	①社会科副読本編集委員会開催回数	回	3	3	3	3
		実績値	3			
	②福祉読本編集委員会開催回数	回	5	5	5	5
		実績値	5			
③小学校用福祉読本改訂版印刷部数	目標値	冊	0	0	0	3,000
	実績値		0			
④中学校用福祉読本改訂版印刷部数	目標値	冊	0	0	0	3,000
	実績値		0			
成果指標	①	目標値				
	【指標の定義(算式等)】	実績値				
	②	目標値				
	【指標の定義(算式等)】	実績値				
	③	目標値				
	【指標の定義(算式等)】	実績値				

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	当該年度の学校教育の推進方針を市内外に周知すること、市独自の教材により地域に根ざした教育を推進することは必要である
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	市の教育基本計画に示す目標を達成するために必要な教材として小中学校で活用されている
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	3	教職員で構成する検討委員会で各学校における実践内容を交流し、指導内容の充実を図っている
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	2	道徳の教科化が決定し、今後教科書が作成されることとなり、その内容や指導計画によっては、福祉読本の必要性について検討していく

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	------------------------------------	---

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	--